

キラ★キラ

北九州市市民活動サポートセンター

No.240
令和5年 秋号

目次

- 1P 表紙
- 2P ふるさと納税
- 3~5P サポの日
- 6P 活動体験プログラム
- 7P サポセンからのお知らせ
- 8P 421Lab.のページ

令和5年度ふるさと納税を活用した協働のまちづくり推進事業

ふるさと納税で、

あなたもプロジェクト**支援**に
参加しよう 

NPO × 北九州市
ふるさと納税

ふるさと納税を活用し、地域課題の解決を目指したプロジェクトについて、募集・選定の結果、5プロジェクトが選定されました。これから市 HP やクラウドファンディングサイトで寄附募集していきますので、ご賛同・応援をよろしくお願いいたします！



企業版ふるさと納税(市外企業向け)

企業版ふるさと納税は、地方公共団体の地方創生プロジェクトに対して企業が寄附を行った場合に、法人関係税から税額控除する仕組みです。

北九州市外に本社がある企業の皆様におかれましては、本制度による本市のプロジェクト支援について是非ご検討いただきますようお願いいたします。



ガバメントクラウドファンディング(個人向け)

政府(自治体)が行うクラウドファンディングです。返礼品はありませんが、集まった寄附金は寄附されたプロジェクトそのものに充てられることになります。

「世の中がもっとこうなったらいいのに」「社会的な問題に関心を持ち、解決に協力したい」といった思いをお寄せください。



詳細はこちらから ▶ <https://www.city.kitakyushu.lg.jp/shimin/27000118.html>



プロジェクト詳細は次頁へ⇒

▶企業版ふるさと納税型

アフリカから学ぶ国際教育プロジェクト

認定NPO法人ロシナンテス



「アフリカから学ぶ国際教育プロジェクト」は、市民や子どもたちへ向けて国際課題や国際協力を学ぶ機会を提供するプログラムです。国際社会で活躍できる人材を育てることを目的として、小学校、高等学校への出前授業や、写真でつたえる活動展示会や報告会を開催します。



出前授業



活動展示会

目標金額
250万円

人にも動物にも思いやりのあるまちプロジェクト

特定非営利活動法人日本アニマルケースワーカー協会

いのち

- ・行き場のない犬猫の365日相談受付

繋ぐ

- ・シェルターにて保護情報発信
- ・譲渡サポート

こころ

- ・ボランティア人材育成
- ・動物福祉啓発活動
- ・出前授業/セミナー

みんなで力を合わせて致死処分ゼロ+不幸な犬猫ゼロの実現に向けて人にも動物にも思いやりのあるまちを目指します。

目標金額
500万円


▶ガバメントクラウドファンディング型


わがまち大家族プロジェクト

～地域みんなが「ただいま」「おかえり」と言い合える“まち”を目指して～

特定非営利活動法人フードバンク北九州ライフアゲイン

次の時代を生きていく子どもは、私たちの未来であり、希望です。商店街の中で開催される子ども食堂をプラットフォームとして、多世代が交流し、“地域社会が家族のように支え合える、そのようなまちづくりを目指していきます。地域社会との交流機会を、子育て世代にアプローチする移動型駄菓子屋・こども地域通貨などの導入によって創出し、子ども達は地域通貨をかせいだり、貯めたりしながら、地域社会で“つながり”をつくり、だれかのために関わり、郷土愛が醸成されます。また、まち全体で子ども達をあたたく見守っていく雰囲気も醸成されます。





目標金額
200万円

こどもまんなか共生社会ラボプロジェクト

～こどものいのちが輝く共生社会の実現を目指して～

NPO 法人光楽園

こどもまんなか共生社会ラボとは？

「こどもをまんなかにした共生社会」づくりを目指して、具体的な課題の論議や様々な経験の交流をすすめていくラボ＝研究会です。

ラボの主要な題材は当法人の実践①認定こども園と障害児通所施設を一体的に運営しながらすすめるインクルーシブ型の保育・活動②自然豊かな環境で保障することの豊かな遊び③制度のすきまで困難を抱えるこどもや家庭への支援」です。これを参考・たたき台にしながら、北九州市の子育てや保育、教育に関わる施設・機関・団体や個人、大学関係者(学生含む)のみなさんと論議・交流を重ね、それぞれの実践につながるラボを運営していきます。

※このラボは2024年を皮切りに3年間継続し、最終的な研究・交流成果を報告書としてまとめ広く共有していきます。


目標金額
190万円


猪倉里山ウォーキングコース整備事業

NPO 法人猪倉里山を守る会

猪倉町は自然豊かな典型的な日本の里山地域です。本プロジェクトでは、猪倉町から河内に抜ける山道を健康ウォーキングコースとして環境配慮型の方法で整備します。大人の足で片道30～40分かけて河内まで抜けられるこのコースは、猪倉町の恒例行事「河内越え」として親しまれ、親子でのちょっとした遠足としても利用されています。

このコースを呼び水に、猪倉町に再び活気を取り戻し、中山間地域の活性化モデルケースとなることを目指します。





目標金額
200万円



2023年7月27日開催
第241回 サポートセンターの日 NPO 活動発表会

新しい平和学習の在り方を考える ～今を幸せに生きるために、歴史から学ぶ～

発表者 北九州 戦争を次世代に伝えていく会



代表の樺島 由彬
です。
漫画を通して
「戦争・平和」
について発信
しています。

団体の紹介

子どもや学生にとって、①先の大戦で国を護る為には戦われた方々の体験にも触れる機会を作りたい。②平和学習の時間を大人の意見の押し付けでなく、学習を通して「今をどう生きるか？」に繋げていくようなものにして欲しい。というコンセプトで活動しています。

活動のきっかけ

約9年前、熱心に行っていたバドミントンが怪我により出来なくなり、自身を見つめ直す旅で訪れたのは知覧特攻平和会館（鹿児島）でした。そこには想像を絶する戦争資料の数々が展示され、今まで漠然と生きてきた自身との差に胸が締め付けられたそうです。同時に、戦争を風化させてはいけないという活動への使命感が生まれた瞬間でもあったそうです。

新しい平和学習

樺島さんが学生時代に学んだ平和学習は、市民目線での被爆体験が多く、悲惨さのみが記憶に残ることに違和感を覚えていたそうです。活動を始め、特攻隊として戦った方のお話を聞くなかで、「平和な世界を望み戦ってきた兵士たちの思いを無駄にせず、命がけで託したバトンを未来に向けてどう繋いでいくか？」を考え、新しい平和学習の在り方を皆さんに伝えていきたいと思い活動しています。

漫画に込めた思い

戦争を継承するための方法は沢山あるなかで、伝え手として後世に残す事も考えたそうですが、語り部の話を全て受け継ぎ、そこに自分の思想が1パーセントでも入れば、それは「継承」とは言えず難しいと思ったそうです。活字資料だと子どもや若者にはハードルが高い、そこで誰にでも気軽に手に取りやすい「漫画」で伝える、という方法にたどり着いたそうです。漫画は、樺島さん自身で聞き取りや資料集めを行い、プロの漫画家をお願いをして作成しています。現在6冊の漫画を刊行。団体のホームページ

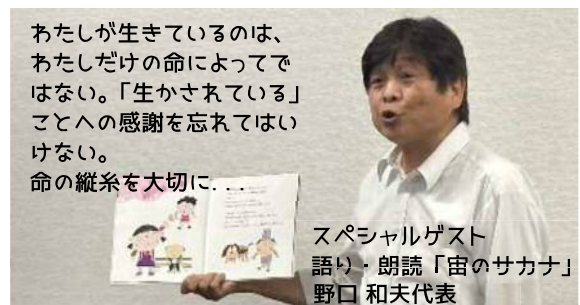


活動資金として
1冊 500円にて購入可能です！

での購入の他、北九州市内の市立図書館でも読む事ができます。また、北九州市内の全小中学校の図書室に置いてもらえるように頑張っています。

読み聞かせで学ぶ命の大切さ

樺島さんは、小中学校や市民センターでの講演活動のひとコマに「命の大切さ」を学ぶ読み聞かせの時間を設けています。今回は、サポートセンターの専門相談員としても活躍中の野口和夫さんに「いのちのまつり おかげさま」という本を読んでもいただきました。



わたしが生きているのは、
わたしだけの命によってで
はない。「生かされている」
ことへの感謝を忘れてはい
けない。
命の縦糸を大切に...

スペシャルゲスト
語り・朗読「宙のサカナ」
野口 和夫代表

樺島代表からのメッセージ

戦争の時代を経て、
命のバトンをつないでくれ
た人や努力の元に私たちは生きて
います。皆さんの力で後世に繋い
でいってもらえたら嬉しいです。
そして団体の応援もよろしく
お願いします。





第 242 回
8 月サポートセンターの日 NPO 活動発表会

悩んでいるあなたに届けたい
たたかない どころがない子育て
ポジティブ・ディシプリン®

スピーカー：岩丸明江氏
ポジティブ・ディシプリン® プログラム ファシリテーター
NPO 法人 GGP ジェンダー・地球市民企画 代表理事



岩丸明江さん

NPO 法人 GGP ジェンダー・地球市民企画（以下 GGP）の代表理事を務める岩丸明江さんをお招きし、ポジティブ・ディシプリン®プログラムにまつわるお話をテーマとしてお話していただきました。GGP では「よい会議の進め方」「ファシリテーター養成講座」「コミュニケーションワークショップ」など、団体のマネジメント力を後押しする参加型ワークショップを実践しています。

「たたく」「どなる」体罰について

ポジティブ・ディシプリン®とは、体罰を用いた子育てから距離を置いて、子どもの健やかな発達と学びを促すような子育てに移行していくことを目的として開発された、人権と科学的根拠に基づいた養育者を支援するプログラムです。

2019 年 6 月に体罰禁止が明記された児童虐待防法が改正されたことをきっかけに、体罰禁止の法定化の整備が進められましたが、北九州市でも、同年には「北九州市子どもを虐待から守る条例」を施行されました。

それを受け、GGP はポジティブ・ディシプリン®日本事務局のトレーナーを招いて研修を開催し、2020 年以降、「ファシリテーター養成講座」や「認定ファシリテーター研修」の実施にこぎつけて、北九州市に同プログラムを実施できる 12 名のファシリテーターが誕生しました。

子育てに体罰がなくなるためには

GGP によると、ポジティブディシプリン®プログラムを体験した方々からは、「我流で子育てしてきたが、子供を尊重する大切さが確固たるものとして見えてきて、モヤモヤがなくなった」「学ぶ人が増えたら、子供たちが幸せになり、豊かな世界になると思う」など、感想が出ていると紹介されました。

また、GGP の調査では、コミュニケーションの改善、視点の増加、怒りのコントロール改善、子育てへの気づき、夫婦および家族への波及などがあり、ポジティブ・ディシプリン®のプログラム効果が明らかになる結果が出ています。

体罰禁止の法定化から、実際にその意識が浸透するのには、まだ時間がかかると思いますが、ポジティブ・ディシプリン®が普及すれば、日本から体罰がなくなるのはそう遠くないのでは、と岩丸さんのお話を聞いて感じました。

※ポジティブ・ディシプリン®は、NPO 法人きづくの登録商標です。



令和 5 年度 北九州市男女共同参画広報啓発事業 主催：北九州市
運営：NPO 法人 GGP ジェンダー・地球市民企画 協力：八幡西区親子ふれあいルーム

ジェンダーと絵本
おんなのこ・おとこのこ どう育てよう？

2023 年 12 月 5 日(火)10:20~12:00

会場：北九州市立八幡西生涯学習総合センター(八幡西区黒崎 3-15-3 コムシティ 3 階)

- 参加無料 託児無料
- 定員：先着 20 名
- みまもり託児(同室)：先着 10 名
- 申込：070-5532-5082(イワマル)
- メール：haru2020@jcom.home.ne.jp



子どもたちの育てかた、関わり方について絵本をとおして〈ジェンダー〉の視点で考えます。子どもたちに届けたい、オススメ絵本の紹介もりださん！子どもたちも遊びながら、いっしょに楽しい時間をすごしましょう！（みまもり託児があります）



まちのオカンと
若者と時々おとん!?

第 243 回サポートセンターの日 NPO 活動発表会

地域のきずなで支える 若者の未来

～多様な主体が繋がる若者の居場所づくり～

特定非営利活動法人 **BeWith**

BeWith 設立までのあゆみ

代表理事の坂本さんが「誰かの役に立てることをしたい!」と一念発起。当時勤めていた会社を退職し、2018年、民間の学童クラブ「みらいく」を設立。2022年、ご自身の子育ての経験から青年期の子どものサポートに手を広げるため「特定非営利活動法人 BeWith」を設立。

若者の居場所づくりを始めたきっかけ

息子さんの成長を通して、青年期の子どもに対するサポートの少なさを日頃から感じるとともに、新型コロナウイルスの流行で、カフェや、公共のスペースが閉まり、中学・高校生の居場所がなくなったと感じていたという坂本さん。

そんな折、知り合いの息子さんが自死。手を差し伸べる人が周りにいれば・・・と強く思い、このことから、中学・高校生や大学生が家でも学校でもなく気軽に立ち寄れる場所が必要ではないだろうかと考えたのが活動のきっかけとのこと。

若者が抱える問題と BeWith が考える若者支援とは?

若者の抱えるいくつかの問題の中に「やりたいことが分からない」、「相談できる場所がない」、「親には、心配かけたくない」などがあり、これらの問題の解決の糸口を見つけるため、大人や若者の垣根を超えて本音で話せる居場所づくりに取り組むことに。

家でも学校でも塾でもない第三の居場所として、中学生以上の学生は無料で利用できる「Learning Space CANDLE」を開設。Free Wi-Fi、Free drink 完備で、試験前に勉強したり、まわりの仲間や大人に相談したりと「来なくなったら、いつでもおいで」のスタイルで運営されています。

大人はカフェやバーとして、またラーニングスペースやレンタルスペース(キッチンもあり!)として利用することができ、大人の飲食代や利用料で学生を支えるシステムです。



代表理事の坂本さん(左)と理事の池田さん(右)

また、若者と大人のご縁をつなぐ「縁日食堂」や、おむすびを無料配布する「おむすびの日」、「マルシェ」の定期開催のほか、様々なイベントを開催しています。

会の最後はグループディスカッションタイム!

《トークテーマ》

若者が抱える問題を「社会の問題」として考えたとき「地域の大人」として私たちができる事は何か?

をテーマにグループで話し合い発表。

- 顔が見える、分かる支援が大切、BeWith さんの進めている活動はとて素晴らしいと思った。
- 自分が若かった頃、身近な大人が嫌いな時期があった。第三者がどう関わるかが大事。などの意見をいただきました。



最後に BeWith さんからメッセージ

これからは、解決への近道になるように適切な機関へ繋ぐ役割を担えたらと思っています。

まちのオカンに、悩みをご相談ください。

社会を支える子どもたちのホッとできる場所を作って行きたいので、活動への共感と、応援をよろしくお願いします!!



BeWith 主な活動の場 「Learning Space CANDLE」(中学生以上の学生は、利用無料)

(住所:北九州市小倉北区金田 2-1-32 アヴィニール金田 II -E)

特定非営利活動法人 BeWith
ホームページ⇒⇒⇒⇒⇒⇒



《活動紹介》

おむすびの日(毎週木曜日 無料配布)・縁日食堂(毎月 9 日開催)・CANDLE+(不定期開催:水曜日 19 時～)・ホンのカタリバ(年 1~2 回開催)・マルシェ(毎月第 3 日曜日)

NPO 活動体験プログラム

レポート Vol.1



認定 NPO 法人光楽園

認定 NPO 法人光楽園は平成 26 年に設立し令和 5 年に認定 NPO 法人となった、暖かく家庭的な雰囲気のもと、自然や人とのふれ合いを大切にしたい保育園の運営等を行う法人です。活動体験プログラムは 3 名が参加します。

まずは光楽園本部にて座学。その後本部の見学に始まり、志井にある田園風景が望めるおひさまいっぱい光楽園など 4 カ所を案内していただきました。

光楽園のビジョン【こどものいのちが輝く共生社会を実現する】のもと、各施設的环境づくり、職員と子どもたちの関係づくりに感銘し、なによりも子どもたちがみんな元気いっぱい笑顔で輝いている姿が印象的でした。時間の都合上、見学できなかった施設もあったため、機会があれば是非行ってみたいですね。

今後は放課後デイサービスや親子朝食堂、リズムと遊びを楽しむ会（運動会）の参加を予定しています。

NPO 法人わくわーく

「NPO 法人わくわーく」さんは「心と体の健康と住みよいまちづくり」を目指して地域コミュニティ活動や障がい福祉サービス事業所の運営を行っている団体です。子どもから大人まで、ハンディのあるなしにかかわらず、誰もが気軽に集える場所や時間をつくり、ヒト・モノ・コトのつながりを広げていくための活動に取り組んでいます。

今回、ショッピングパークの周年誕生祭のフィナーレを飾るイベントとして、「にぎわい」「交流」「啓発」を目的とした、『Be Happy マルシェ』に参加者の皆さんと企画することに。

参加者は大学生チーム、社会人チームに分かれ、それぞれが代表の小橋さんと複数回やり取りをしながら、イベント内容について企画・調整を行ってきました。大学生チームは着ぐるみでおもてなし、社会人チームは来場者へお花のプレゼント、そしてフラッシュモブの企画など素敵なアイデアを出し合いました。

市民活動サポートセンターでは「ボランティアをやってみたい」「NPO 活動について知りたい」という方を対象に NPO 活動を体験してもらうプログラムをご用意。体験の様子を 3 回に分けてレポートしていきます。



NPO 法人 ALL OK

NPO 法人 ALLOK は、動物愛護、子育て支援等を通じて、動物と人間、女性と男性など様々な壁をなくし命が平等である社会の実現に寄与することを目的とした活動を行っています。

プログラムには、折尾高校のボランティア部を中心としたメンバーが参加し、ワンヘルスフェスタ 2023（11 月 3 日・4 日開催@県営中央公園）への出店に向けて、準備中です！

先日は学生に向けて、「人の健康」「動物の健康」「環境の健全性」を一つの健康と捉え、一体的に守っていくというワンヘルスの考え方について事前講習を行いました。クイズ形式で学生さんと対話を重ねながら、親交を深めることが出来ました。

イベント当日は出店でミニゲームを通じて、お客さんにワンヘルスについて学んでもらいます。

プログラム参加者には、自分なりの課題や目的意識を持って取り組み、何よりイベントを楽しんでいただけたら良いと思います。



NPO 法人 K9TPG

NPO 法人 K9 Trident Protection Group（以下、「K9」）さんは、地域住民が安心できる暮らしを目指した社会づくりに寄与するため、「犬と共に社会を守る」を合言葉に、子供の防犯・防災・救護講習、防犯パトロールなどの活動を行うことで、防犯・防災及び救護の活動に力をいれている法人です。

今回、九州国際大学の乗畑ゼミ生と協働し、「防犯」と「防災」を取り入れたプログラムを企画。15 名のゼミ生が参加していただく予定です。防犯・防災の知識を得るだけでなく、犯罪・災害に巻き込まれた時にプログラムの経験を活かし、生存する可能性を上げていくことも期待されています。

『K9』さんが実施する活動は、動き始めたばかり。現在、乗畑ゼミ生と協働で準備を重ねて、これから予定の大学祭（橘祭）の実践体験や現場でのパトロール体験活動など企画しています！プログラムの詳細や様子は次号にてお伝えしていきます！

サポセンからのお知らせ

【11月サポの日のお知らせ】

発表団体:

特定非営利活動法人

日本アニマルケースワーカー協会

わんわん にゃんにゃん

日時: 11月22日(水)

18:30~20:00

会場: 市民活動サポートセンター

(13階)

定員: 20名(要申込・先着順)

申込: 電話または電子申請

問合せ先:

北九州市市民活動サポートセンター

093-645-3101

申込フォーム



発表団体

特定非営利活動法人

日本アニマルケースワーカー協会

理事長: 西原 由美 氏



犬猫に関する保護活動、譲渡会や保護猫カフェの運営などを行っている団体の発表です! 不幸な命を作らない為に、皆さんも一緒に考えてみませんか。今回は猫中心のお話です。

【FMKITAQ 出演者募集!】

サポセンでは「FM K I T A Q」の協力を得て、市内で活動しているNPO団体等を紹介するためのラジオ番組を行っています。(毎週木曜日10時30分から約15分間)。

出演者にはスタジオ(小倉北区魚町)に来てもらい、打ち合わせの後、パーソナリティとのやり取りの中で、団体紹介やイベント案内等を行っていただきます。

出演したい団体はお気軽にサポートセンターまでご連絡ください。☎093-645-3101

【税理士相談】

毎月第2水曜17時~20時(1コマ1時間)

実施。(無料・要予約)

いつまでも逃げてられない、会計の悩みにマンツーマンでご相談をお受けします。

帳簿のルール、事業報告書の作り方など。

【note 投稿中!】

昨年度からnoteをはじめました。

市民活動サポートセンターでの出来事や日々の想い、セミナーやイベントのご紹介などなど…投稿しています。

是非のぞいてみてください!



【NPO 法人入門説明会】

毎月2回、第1木曜・第4月曜19時~20時に開催。(無料・要予約)

「NPOってなんだろう?」「申請書類の作り方は?」など基本的なご質問から、法人運営に関するご相談まで。

【NPOの活動紹介します!】

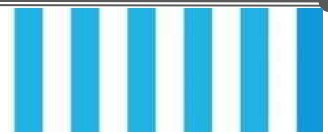
市民活動サポートセンターHP(キラキラネット)で団体の活動を紹介します!

広く市民の方々に日頃の活動を知ってもら

いませんか?掲載を希望する場合は申込みフォームをサポセン宛てに送付ください!



421Lab. だより Vol. 6



こんにちは！北九州市立大学地域共生教育センター（421Lab.）です。
421Lab.では、地域で活動したい北九州市立大学の学生と、学生と一緒に課題を解決したい地域の方々と繋ぐ活動をしています。
本号でも421Lab.で活動している学生プロジェクトについて紹介します。



「ブンガクの街北九州」発信プロジェクト

「文学を北九州のブランドにする」という目標のもと、北九州市を盛り上げるために、北九州市ゆかりの文豪や文学作品の魅力を発信しています。



今年度は北九州市立大学での古本市の開催や北九州文学サロン



北九大古本市



読書感想文講座

と連携して行う「読書感想文講座」の開催、北九州市立子ども図書館で行われるイベントへの参加などを行い、大学生や地域の方々と「ブンガク」を通して交流しました。同じ趣味の人や新しい作品と出会うなど、「ブンガクならではの」交流ができ、楽しく活動しています。

「ブンガクの街北九州」
発信プロジェクトの
詳しい活動内容は
こちらから！→



〒802-0841
北九州市小倉南区北方4丁目2番1号
公立大学法人北九州市立大学
地域共生教育センター（通称：421Lab.）
TEL 093-964-4092

421Lab.では、20もの学生プロジェクトが様々な地域課題の解決に取り組んでいます。詳しくは右の二次元バーコードより、公式HP、X（旧Twitter）、Instagramをご覧ください！



公式HP



X (旧Twitter)



Instagram



北九州市
市民活動
サポートセンター



北九州市八幡西区黒崎三丁目15番3号（コムシティ3階）
☎ 093-645-3101 FAX 093-645-3102
HP <https://www.kirakirakitaq.jp> info@kirakirakitaq.jp

開館時間 月曜日～土曜日 10:00～21:00
日曜日・祝日 10:00～19:00
休館日 第1・3・5月曜日、年末年始